

今月の目標

- ◇横断歩道は手をあげて
- ◇ふみきりは止ってよく見て
- ◇仕業点検を励行
- ◇道路に物を置かないよう



昭和38年10月1日 第306号

発行所 和歌山市小松原通1丁目1番地

和歌山県

発行人 文書広報課長 出水清治

印刷所 和歌山新聞社

昭和29年5月28日日本国有鉄道特別扱承認雑誌第2816号



【写真はあの日の移動図書館橋の巡回風景】伊藤花園村

読書と人生

人生には「めぐらあい」ということがあります。くだらない人にもめぐらあうこともあります。しかし良い人にはめぐらあうこともあります。くだらない人を友としたために立派な人生をおくる人もあります。こうしたことは、よく偶然にそうなると考えがちであります。しかし、良い人を友としたために立派な人生をおくる人もあります。こうしたこと、よく偶然にそうなると考えがちであります。しかし、くだらない人を友としたために立派な人生をおくる人もあります。こうしたことは、よく偶然にそうなると考えがちであります。しかし、良き友、良い師を最も身近に求めることができます。できるのは読書だと思いません。読書を友として豊かな精神生活を日々積んでいきたいも

のです。秋々空気が澄みきつて、すがすがしい休日など静かに読書をしたのしむとき。著者、友、良き師とも語る者のよろこびは、何物にも代えられないものがあります。そして又ひとり深く考へ正しく判断する生活が生まれることでしょ。現代の毎日の生活は「考える」ということをあまりしなくて事が足りるようになつてしまひました。このような自己を失ったような毎日の連続は、おぞろしいことだと思います。

「人間は一本の草にすぎない。自然のうちで最も弱い草にすぎない。しかしそれは考え事である」といふたのはバスクアルですが、物事を冷静にみつめ、考え方を判断するところに入間としての値打ちがあるのでないでしよう。

My BANK My KINKI

ガッカリ貯めよう
私のきんこう
(きんき)で貯めよう
そしてバケンスを
思いつきり楽しもう
明るいくらしを
豊かなくらしを
(きんき)で
スマートに積立てよう

■地元のご繁栄に奉仕する

近畿相互銀行

和歌山支店
和歌山市星形町1丁目4の3
(三木町電停北入る西側)
本店・大阪市東区本町2

オイルマチックでお店の経費が2割お得です

●これでガソリン券が使え、オイルの消費量も今までの半分になります。

■4人乗り/250kg積
■17馬力■軽免許

ダイハツ

ハイゼットライトバン

和歌山市御賀屋町東ノ丁 TEL⑧4166
株式会社 和歌山ダイハツモータース

明るく住みよい社会を

秋です。
スポーツのシーズンです。
十月の第一土曜日を「スポーツの日」と定めています。

今年は、十月五日がこの日

にあたりますが、広くスポーツについての理解と関心を高め、積極的にスポーツを楽しむことをめざす「スポーツの日」を定めています。

今年は、十月五日がこの日

にあります。秋の気分を楽しむために、秋の天気を私たちのものにいたしましょう。

仕事に追われがちで、スポーツをための真さを忘れないでください。

秋の天気を楽しむために、秋の天気を私たちのものにいたしましょう。

民主主義の生命は法を守ることから

十月一日が「法の日」とさ

められてから毎年で四年にな

ります。そしてこのように各人の自

由と正義を守り、世界の平和

を維持し、人類の福祉に貢献

するところは、私達日本国民の

自由はもとより各人の勝手氣

の自由にあります。しかしその

個人の自由は、すべての他

の人の自由と共に存する限りに

あります。民主主義において

個の自由ではあります。しかしそ

の個人の自由は、すべての他

の人の自由と共に存する限りに

あります。しかし民主主義において

個人の自由は、すべての他

の人の自由と共に存する限りに

バランスのとれた食事と規則正しい生活から

規則正しい生活から

人がいますが、人によっては

目を悪くしてからでは手当

の立場で読み物の中でも

疲れさせます。

また乗りものの中でも

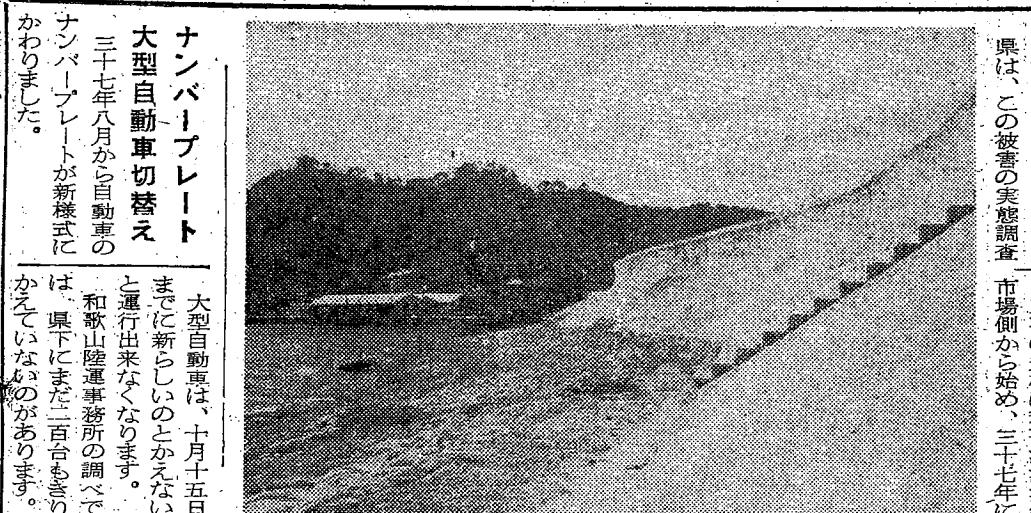
疲れさせます。



大防潮堤が完成 臨港道路や観光に

働く人の幸と
企業の繁栄を築く

和歌浦漁港



昭和三十六年九月、本県の海岸付近に甚大な被害を与えた第二害「台風」の恐ろしさは、未だに忘れることができません。当時、和歌浦漁港の海岸も、昭和九年の害「台風」をしぶきの激浪や高波にあい、防潮堤の一部がこわされたり、民家も大変な被害を受けたりしました。

小野知事も出席して竣工式が

行なされました。

工事の規模は和歌浦漁港魚市場側から始め、三十七年に

完成し、九月十五日に

良き後日に着手しました。

下野は、三十七年と、三十一年の二ヶ年計画で、このほ

と完成した。

工程は、この被書の実態調査

をした結果、堤防そのものの被書は少なかつたけれども、その背後にいる人々の被害が大きかつたことを重視し、改

ました。

また、いつまでも海岸道路と

になってしまいます。

まだ、いつまでも海岸道路と



九十才以上が三十七名 伊都よしに総理大臣表彰

働く人の章と
企業の繁栄を築く
△中小企業振興会議。

永松次郎(同) □ 松尾マス
(同)

△林伊助(同) □ 高沼ヨシ
(同)

△谷沢(ぶえ)丸(同)

【貴志川町】 □ 西川徳松
(同)

△道本ヤスエ(五郎) □ 田中むめ
(同)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(同)

△上東トメ(元) □ 横本
(同)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(同)

△ラクル(元) □ 津田コイト(同)

△谷沢(ぶえ)丸(同)

△山田長治郎(同) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(同) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(五郎) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

△和佐マツエ(元) □ 竹田
(元)

△上東トメ(元) □ 横本
(元)

△熱田ナオエ(元) □ 高沼ヨシ
(元)

△ラクル(元) □ 津田コイト(元)

△谷沢(ぶえ)丸(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△鶴若イト(元) □ 藤田よし恵
(元)

△山田長治郎(元) □ 藤
(元)

△道本ヤスエ(元) □ 田中むめ
(元)

新築なった印南町の共同畜舎



暴力追放日高郡連絡協議会は、三十八年度の事業に青少年問題の対策を大々的に取り上げました。明瞭にならざる若い世代の育成を、みんなで考え、機関として青少年問題協議会です。

暴力追放日高郡連絡協議会は、三十八年度の事業に青少年問題の対策を大々的に取り上げました。明瞭にならざる若い世代の育成を、みんなで考え、機関として青少年問題協議会です。

印南町切目川地区の共同畜舎がこのほど完成しました。この地区的、いく處の歴史は古く、乳牛の数も五百五十頭をかぞえ、県下一をほこっています。町でも、うる農業をより強力にすすめるため、中紀から農協組合を事業主体として、三千八百九十万円を六か所の共同畜舎建設費にあてました。乳牛の数を増やすことに力をいれ、共同経営による合理化をはかり、事業構造改善を進めています。

事業として収益の増大をはかり、農業構造の改善

しているわけです。

共同畜舎には、それ

三

十から五十頭の乳牛が収容されています。十から五十頭の乳牛が収容されています。

きま

す

し

ま

す

る

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

業

構

改

善

す

む

事

東牟婁・新宮版

大防潮堤でさる

宇久井東海岸一帯に

県が完成を急いでいた那智勝浦町の宇久井東海岸一帯にこのほど大防潮堤ができました。

事費一億二千万円余をかけた、この防潮堤の完成で毎年の台風に肝をひいていた

周辺の民家も、ようやく安心できることになりました。

(写真は完成した大防潮堤)

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山

漁村電気導入事業として、本

年延長三千三百三十坪、総工

事費一千二百万円余をかけ

た、この防潮堤の完成で毎

年の台風に肝をひいていた

那智勝浦町

文化の灯ともる

本宮町道之川 大峯地区に

昭和三十八年度へき地農山